

祝 辞

本日、職業能力開発総合大学校を卒業される皆さまに、心よりお祝いを申し上げます。日々の研鑽が実を結び、この佳き日を迎えられることに、深く敬意を表します。また、これまで支えてこられたご家族の皆さまにも、厚く御礼申し上げます。

皆さまが大学校で学ばれた専門的な知識と技能を活かして、職業訓練分野における課題の解決に真摯に取り組む姿勢は、これからの日本を支える大きな力となります。大学校が掲げる「理論と実践の融合」の学びは、ものづくりの実践的な現場での課題を正確に捉え、解決へと導くための確かな基盤となるものです。

現代の社会は、産業構造の転換、デジタル化の進展、働き方の多様化など、大きな変化の中にあります。皆さまがこれまで大学校での学びを通じて培った発想力や課題解決力、分析力などの力は、新たな時代の担い手として期待されるものです。

また、経済社会の変化に対応するため、一人ひとりが生涯を通じて学び続けることが求められる時代において、皆さまが今後担うこととなる、知識や技能、技術を伝える役割はますます重要になっていくことでしょう。

この春から職業訓練指導員として現場に進まれる方も多くいらっしゃると思います。職業訓練の場は、技術を伝えるだけでなく、訓練を受ける方々が新たな一步を踏み出すための力、すなわち、主体性や探求心とともに、責任感、柔軟性、社会性などを育む場でもあります。学んだことを活かし、国や地域を支える人材の育成や産業の活性化などに貢献する一翼を担っていただくことを期待しております。

民間企業等に進まれる方におかれましては、これから就職される職場での仕事内容が、学んできたこととの関わりにおいて、どのように活かしていただけるのか、日々意識しながら、自己研鑽に励んでいかれることを期待しております。

また、大学校の教育と運営を力強く支えてこられた新野校長をはじめ、大学校職員の皆さまに厚く敬意を表します。皆さまの真摯な取組が、これまで多くの優れた人材を育成し、我が国の職業能力開発を支えてこられました。今後とも、大学校がその使命を果たし、さらなる発展を遂げられることを心より祈念いたします。

あらためて、卒業生の皆さまには、新たな環境においても、挑戦する心と学び続ける姿勢を忘れず、それぞれの道で大いに活躍されることを期待しております。大学校で学ばれた経験が、皆さまの支えとなり、未来を切り拓く力となることを願っております。

結びに、皆さまのご健勝とさらなる飛躍を祈念し、祝辞と致します。本日は誠にありがとうございます。

令和八年三月十七日

厚生労働大臣 上野 賢一郎